

京都アニメーション火災についての宇治市長コメント

7月18日に本市に本社がございます株式会社京都アニメーションの第一スタジオが放火の被害にあわれ、35名の尊い命が失われたことに、心を痛めておりますとともに、決して許されるべきものではなく、強い憤りを感じているところでございます。

お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、ご遺族の方々にお悔やみを申し上げます。

また34名の負傷された方々の一日も早いご回復をお祈りしております。

被害にあわれた方、そのご家族、京都アニメーションの職員の方々、関係者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

株式会社京都アニメーションは世界に誇るアニメーション制作会社として、本市の観光振興に大きくご貢献をいただいております。宇治を舞台にストーリーが展開される「響け！ユーフォニアム」などの作品を通じて聖地巡礼として多くの皆様に宇治へ訪れていただいております。

この事件を受けまして、本市では、消防本部により市内のガソリンスタンドに対して、立ち入り調査ならびに文書通知を行うとともに、3階以上の145施設の調査を実施し、京都アニメーション第1スタジオと類似した2ヶ所の現場確認を行い、安全対策の徹底を指導いたしました。

また、被害者、その家族、周辺住民等への健康支援等を目的とした健康相談窓口を7月29日より福祉こども部に設置し、保健師チームにより対応しているところでございます。

ご遺族の方々には、犯罪被害者等見舞金、市民税の減免制度、その他各種手続きの際には、できる限りご負担をかけないような対応に心掛けているところでございます。

いずれにしましても、ご遺族や被害者に寄り添った対応をしてみたいと考えているところです。

また、この度、国・京都府におかれましては、義援金を寄せられる方々のお気持ちが、被害者やご遺族の皆様にしつかりと行き届けられるよう検討を重ねていただき、税務上の取扱いに配慮いただくと共に義援金受け入れを開始していただくなど、ご支援をいただき

ましたことに、市長として深く感謝を申し上げます。

本市といたしましても、広く義援金を募り、支援の輪がさらに広がりますよう市民への周知を図ると共に、より多くの方にご支援いただけるよう、すでに支援金のお取り組みをされております宇治商工会議所、公益社団法人宇治市観光協会とも引き続きしっかりと連携をしてまいりたいと考えております。

なお、昨日から本市として義援金の募集を開始しており、地域福祉課窓口での受け付けに加え、募金箱は市役所玄関案内、地域福祉課に設置をしております。また、明日11日からは、文化センター、各公民館、各図書館、各コミュニティセンター、源氏物語ミュージアムに募金箱を設置いたします。合計では15か所となります。市民の皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

募金箱の横にも注意書きを添付していますが、税制上の寄付金控除を受けていただく場合は領収書等が必要となりますので、この募金箱に入れずに、口座振り込みをご利用いただくか、地域福祉課の窓口にて義援金を受け付けさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

本市の今後の対応についても、京都府をはじめ、宇治商工会議所

や公益社団法人宇治市観光協会ともしっかりと連携して、すぐには
できることは実施していきたいと考えておりますし、市として全力で
支援をしていく姿勢でございます。

令和元年9月10日

宇治市長 山本 正